

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1 調査、検討すべき事項																								
(1) 移転元地の住民の意向調査																								
移転元地の住民に対し、想定される災害リスク（土砂災害や水災害）を説明し、移転についての意向を調査する。																								
(2) 移転先地の地権者の意向調査																								
都市機能誘導区域内の低未利用土地の権利者を対に																								
①、今後の土地活用のヒアリングを実施する。その結果を踏まえ、移転候補地となる低未利用土地を抽出する。																								
① なぜ都市機能誘導区域のみが対象になっているのですか。安全なエリアであれば良いのではないのでしょうか。また、意向確認の前に移転先の候補地の検討・調査が必要と考えます。																								
(3) 移転に必要な情報の提供																								
移転元の住民に対し、移転に必要な費用の試算や移転後の跡地の処理方法等、移転の意向を決断させるための情報提供を行う②。																								
② 調査・検討事項になっていないですね。すべて、検討事項として記載すると良いでしょう。																								
(4) 新たなコミュニティとなる移転先での受け入れ体制の検討③																								
移転先で安心して暮らせるよう、移転先での居住体験やモデル事業の実施を検討する。																								
③ 見出しが長すぎます。端的に書きましょう。また、内容は体制の検討になっていません。																								

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

2 業務を進める手順

(1) 移転の計画・コーディネート

移転元より安全なエリア（移転先）を選定し、移転元の住民側に提案する④。この時、移転に要する費用や移転先の自治会などのコミュニティの状況など詳しい情報を提供することに留意する。

また移転先の低未利用土地の地権者の意向を把握し、移転元の住民と移転先の地権者のマッチングを行う④。この時⑤、固定資産税台帳や地籍調査票を利用して居住誘導・都市機能誘導区域内の土地等に関する情報を活用する。

④ 問われているのは、業務内容だけでなく手順も聞かれています。移転先の地権者の意向を確認しないまま、移転元の住民に提案して問題にならないのでしょうか。最初の手順は、移転先、移転元の選定と考えます。その次に、双方の意向確認ではないのでしょうか。この双方の情報収集ののちに、初めてマッチングが可能になるのではありませんか。これらは、順番を明確にするため、項目立ての方が良いと思います。

⑤ マッチングの段階では、権利者が明確になっているのではありませんか。情報収集を必要とするタイミングは、権利者が不明な時ではないのでしょうか。

(2) 関係者の同意

移転者、地権者などの関係者全員で同意書を作成する⑥。

⑥ 問題文が明確でないので何とも言えませんが、同意書を作成するのは移転者や地権者などの関係者ではありませんか。市町村の業務を問われている場合は、手順とは言えないと思います。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

(3) 居住誘導等権利設定等促進計画の策定
 同意を得た内容を計画に反映する⑦。計画内容は移
 転者の氏名、移転元の住所、移転先の住所、移転する
 権利の種類(所有権)⑧等を記載する。

- ⑦ 反映するというよりも、計画を策定するではないでしょうか。→「同意内容に基づき、居住誘導等
 権利設定等促進計画を策定する」
 ⑧ 括弧書きの意図が良く分かりません。権利の種類と書いてあるのに、所有権に限定しているように
 見えます。

(4) 計画の公告・権利の移転
 計画を策定した旨や内容を公報に掲載する等して、
 公告する。公告により複数の権利が一括に移転する⑨。

- ⑨ これは、手順ではないです。公告の目的ですかね。

(5) 登記・減税の適用
 移転者に代わり、市町村が一括で登記を行う。登録
 免許税と不動産取得税が軽減される⑩。

- ⑩ これも、手順ではないです。

3 関係者との調整方策

(1) ワークショップ
 移転計画に対する意向や要望を把握するため、行政
 住民・企業、まちづくりの専門家で構成されるワーク
 ショップ⑪を開催する。計画の検討及び素案の各段階
 において住民意向を十分に把握・反映⑫する。

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

- ⑪ ワークショップは、体験型の講座です。協議会などと考え違いしていませんか。
- ⑫ 調整した後の行動を述べるのではなく、調整方策を答えるべきです。

(2) 説 明 会

移 転 計 画 に 対 す る 合 意 形 成 を 図 る た め 、 早 期 段 階 か
ら 地 元 説 明 会 を 複 数 回 開 催 す る 。

以 上

- ⑬ 「防災移転まちづくりガイドンス」に示されているモデルケースにおいては、「必要な相談体制」と明記されていますので、このような体制づくりを述べてはいかがでしょうか。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1 調査、検討すべき事項																								
<u>(1) 集団移転を行う地域の検討</u>																								
どういった地域で集団移転を行うのか、災害リスクやその対策の進捗状況を踏まえ、移転検討対象地域を選定する①。集団移転しようとする地域の住民意向を調査し把握する。																								
① 調査・検討事項を述べる項目なので、文末は「検討する」が良いでしょう。																								
<u>(2) 移転先の検討</u>																								
移転先の住宅団地をどこに整備するのかを検討する。移転する住民の新しい生活を営む場所を決める極めて重要なプロセスになることに留意する②。検討は、地域住民の意向、災害からの安全性及び利便性や移転者の生活、就労等にも配慮する③。																								
移転先の住宅団地は、既存の市街地や集落の空き地・空き家の活用することに工夫する④。																								
② 留意事項は手順で述べましょう。また、留意するとありますが、何に留意するのか分かりません。 ③ これも同じですね。配慮（留意）事項は、手順で述べるべきです。 ④ これも同じですね。工夫点は、手順で述べるべきです。																								
<u>(3) 関係部署との連携</u>																								
事業の進捗を加速化させるため、関連事業と連携して事業を進める。例えば河川管理者等の関係者と十分に協議し、実施内容の一部に事業協力を受けることで、より実効性の高い計画とする。⑤																								

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

⑤ この内容は、調査事項でもなければ、検討事項でもありません。

2 業務を進める手順

(1) 対象とする災害の把握

最新の災害リスク情報を収集し、発生頻度や被害規模、既往・関連計画における災害対策、地区特性) ⑥等を考慮し、計画の前提となる災害を設定する ⑦。

⑥ 括弧のはじまり箇所が不明です。

⑦ 災害を設定するとはどういうことですか。災害危険区域等の指定を言いたいのですかね。

(2) 集団移転を行うエリアの検討

(1) で検討した 災害に対し、ハザードエリアにおける ⑧住宅や施設の立地状況等に留意し、集団移転を行うエリアを抽出する。

⑧ 災害に対し、ハザードエリアにおけるとの表現は、違和感があります。また、必ずしもハザードエリアとも限らないのではないのでしょうか（補助要件ですが、災害危険区域等の指定が必須とありますのでハザードエリアでない箇所も想定されます）。

(3) 移転元地の住民の意向の把握

移転元地の住民にとっては、新たな移住となるため ⑨、移転元地の地域住民の移転に関する意向を丁寧に把握する。移転先においても継続的に生活できるよう、あらかじめ行政による相談体制を構築する等、サポート体制 に工夫する ⑩。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

⑨ 当たり前の事柄に見えます。また、新たな移住との表現も違和感があります（移転は新たであることが当然のように思いますし、はじめてのという意味合いであれば人によります）。不要。

⑩ →「を工夫する」または「に留意する」

(4) 移 転 元 地 の 災 害 危 険 区 域 な ど の 指 定

移 転 元 地 は 、 居 住 者 の 生 命 ・ 財 産 が 危 険 に さ ら さ れ
 る よ う な 住 宅 が 再 び 建 設 さ れ る こ と が な い よ う 、 土 砂
 災 害 防 止 法 に 基 づ く 土 砂 災 害 特 別 警 戒 区 域 な ど の 災 害
 危 険 区 域 等 の 指 定 を 行 う 。

(5) 移 転 先 の 選 定 ・ 整 備 ⑪

移 転 先 の 選 定 は 、 移 転 元 地 の 災 害 の 危 険 性 や 、 移 転
 の 契 機 と な っ た 災 害 か ら の 被 害 等 を 考 慮 し 、 再 度 ⑫ 被
 災 の お そ れ の な い 場 所 と す る 。 ま た 、 地 域 コ ミ ュ ニ テ
 ィ の 維 持 や 活 性 化 が 十 分 に 確 保 さ れ 、 移 転 す る 住 民 の
 生 活 や 就 労 等 に つ い て も 配 慮 す る 。 ⑬

⑪ 計画策定手順が抜けています。

⑫ 被災していない場合でも移転可能ですので、違和感があります。

⑬ 問題の内容で業務範囲が判然としないので何とも言えませんが、「住宅団地の整備」は防集事業の
 必須要件となっています。

3 関 係 者 と の 調 整 方 策

移 転 計 画 に 対 す る 合 意 形 成 を 図 る た め 、 早 期 段 階 か
 ら 地 元 説 明 会 を 何 回 も 開 催 し 、 意 識 醸 成 を 図 る ⑭ 。 資
 料 は 災 害 リ ス ク を 3 D 化 ⑮ し て 、 集 団 移 転 の 効 果 を 明
 示 し 、 合 意 形 成 の 強 化 ⑯ を 図 る 。

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

以 上

- ⑭ 誰に対する行動なのか明確にしましょう。
- ⑮ もっと詳細に述べないと理解できません。
- ⑯ 合意形成は、強化するものではありません。→「促進」